

2021.12.19. 聖書預言アップデート
反キリストではなく、イエス・キリスト

JD ファラグ牧師

おはようございます。第一礼拝へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝があり、第一礼拝は、毎週「聖書預言・アップデート」第二礼拝は、神の御言葉を節ごとに学び進める「聖書の学び」です。現在、素晴らしい「ヘブル人への手紙」で、御心なら、今日12章を学び終えます。神が、しばしば私たちの注意を引く必要があると思われるのは、どのような場合でまたどういう時なのかを見ていきます。それをハワイ時間、11時15分からライブ配信します。ここにいらっしゃる方は、第二礼拝にも、ご参加くださると嬉しいですね。また今、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、jdfarag.org へ直接行かれ、検閲なし、中断なし、完全版の今日の「預言・アップ」を見るのをお勧めします。

ということで、早速、本題に入りたいと思います。主が、今日私たちにご用意下さっていることが楽しみです。皆さんにお話ししたいのは、私たちがクリスチャンとして、反キリストではなく、イエス・キリストを待ち望むべき理由です。その理由は、反キリストは、イエス・キリストの教会が携挙されるまで出現しません。それは、神の預言時計で、今まさに、私たちがいるところです。今日、皆さんと共に過ごすこの時間で私の希望と祈りは、この終わりの時に、御霊が主の教会に語っておられることに私たち全員が聞く耳を持つことです。すなわち、反キリストは、既に準備が整った状態で舞台裏にいることは、イエス・キリストの教会携挙が、もう戸口に来ているという意味です。一旦、引き止める者が取り去られる、つまり教会が携挙されると、反キリストが登場します。「第二テサロニケ人への手紙2章」の1節から読みたいと思います。1節～9節までを、1599年発行のジュネーヴ聖書から読みます。すぐに理由は分かると思います。使徒パウロは、テサロニケの教会に手紙を書いています。この教会は大変落胆しているのです。そう、こういう風に言えます。彼らは、自分たちが携挙を逃し、既に患難時代にいるという惑わしを信じてしまい、震えあがっていました。キリストにあって死んだ、愛する人たちはどうなるのか？ 彼らはどうなのか？ そこでパウロが、この第二の手紙で彼らを励まし、落ち着かせ安心させるのです。パウロが聖霊によって語ります。1節、

II テサロニケ 2

1 さて兄弟たち。私たちの主イエス・キリストの来臨と、私たちが主のみもとに集められることに関して、あなたがたにお願いします。

2 霊によってであれ、ことばによってであれ、私たちから出たかのような手紙によってであれ、主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いても、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。

あたかも、使徒パウロからのものであるかのように偽装された手紙が出回っていました。パウロからではありません。それには、患難時代が既に始まっていると書いてあり、だからパウロは、「主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いても」と書いているのです。そして3節、これはデカイです。

3 どんな手段によっても、だれにもだまされてはいけません。まず出発/Departing=携挙、(不法の者、すなわち滅びの子が現れなければ) 主の日(患難時代) は来ないのです。

お待ちくださいまだ私を石打ちにしないでくださいね。

...不法の者、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日(患難時代) は来ないのです。

4 不法の者は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ

神であると宣言して、神の宮に座ることになります。

5 私がまだあなたがたのところにいたとき、これらのことをよく話していたのを覚えていませんか。

6 不法の者がその定められた時に現れるようにと、今はその者を引き止めているものがあることを、あなたがたは知っています。

7 不法の秘密はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、今引き止めている者が取り除かれる時までのことです。

8 その時になると、不法の者が現れますが、主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます。

待ちきれません。これは再臨のことですね。興味のある方、第二テサロニケを一節一節学んでいく中で、「まず、携挙が起こる」という学びのタイトルで第二テサロニケ 2 章 3 節を深く掘り下げました。まだ見ておられない方は、是非ご覧になるのをお勧めします。その中でこの節が、Falling away という方法で教えられてきた、また教えられている霊的な逸脱でなく、肉体的な出発/教会携挙の意味である理由を深く説明しています。falling away/逸脱ではありません。catching away/取り去られる のです。この 3 節は、霊的逸脱ではありません。肉体的出発なのです。それから、反キリストが出現します。教会が携挙されれば、引き止めている者が取り去られるからです。そしてこうなります。「OK。お好きにどうぞ。」もうあなたの邪魔をしません。なぜなら今は、私たちが彼らの邪魔をしているからです。さあ、もうあなたの邪魔をしませんよ。あ〜因みに、あなたにあるのは 7 年間だけです。どうぞ、いってらっしゃい。私はなぜこのように始めるのか。その理由は、今、世界で起きていることはすべて、反キリストが登場しようとしていることを示しているからです。それが真実なら、私が個人的に心の底から信じているのは、それは先に起こるべき携挙が本当に差し迫っているということを意味します。反キリストが誰であるかは分かりませんが、イエス・キリストを知っている人は、携挙による彼の来臨が迫っていることも知っています。「ルカの福音書 21 章 28 節」でイエスが話しておられます。

ルカ 21

28「これらのことが起こり始めたら（キーワード）身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」

理解するのが重要なのは、イエスがこのように語っておられるのは、実は、終わりの兆候について質問した弟子たちに答えておられるからです。実際、弟子たちはイエスにこう尋ねたと記されています。

「いつ、そのようなことが起こるのですか。」そして質問は、2 面あります。「それが起こるとき（キーワード）のしるしは、どのようなものですか。」（ルカ 2：7）

そしてイエスは、終わりの時に何が起こるのかを説明しながら、弟子達に詳しい答えを続けて仰います。終わりの時、世界がどうなるのか。そして興味深いことに、おもにそのしるしは、欺瞞/惑わしです。イエスが仰っているのを聞いてください。

ルカ 21

8 イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現れて『私こそ、その者だ』とか『時は近づいた』とか言います。そんな人たちの後について行ってはいけません。

9 戦争や暴動のことを聞いても、恐れてはいけません。まず、それらのことが必ず起こりますが、終わりはすぐには来ないからです。」

10 それから、イエスは彼らに言われた。「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、

11 大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい光景や天からの大きなしるしが現れます。使徒ヨハネが第一書簡で、この欺瞞について救世主が仰ったことを強調しています。まさに終わりの時のこの反キリストの欺瞞です。2章18節、

Iヨハネ 2

18 幼子たち、今は終わりの時です。反キリストが来るとあなたがたが聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現れています。それによって今が終わりの時であると分かります。

ここで止めます。分かりましたか？ ヨハネが言っているのは、今が終わりの時だと分かるリトマス試験は、あの反キリストに先立って登場する反キリストだということです。それは、これをしっかり聞いてください。反キリストというのは、必ずしもキリストに敵対する者だけではありません。しかし、「キリストの代わり」という考えを伴いますそれが反キリストです。ですから、これが分かる方法です。ヨハネが続けます。19節、

Iヨハネ 2

19 彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし仲間であったなら、私たちのもとに、とどまっていたでしょう。しかし、出て行ったのは、彼らがみな私たちの仲間ではなかったことが明らかにされるためだったのです。

20 あなたがたには聖なる方からの注ぎの油があるので、みな真理を知っています。

21 私がこのように書いてきたのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、真理を知っているからです。また、偽りはすべて、真理から出ていないからです。

22 偽り者とは、イエスがキリストであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否定する者、それが反キリストです。

23 だれでも御子を否定する者は御父を持たず、御子を告白する者は御父も持っているのです。

24 あなたがたは、初めから聞いていることを自分のうちにとどまらせなさい。もし初めから聞いていることがとどまっているなら、あなたがたも御子と御父のうちにとどまります。

25 これこそ、御子が私たちに約束してくださったもの、永遠のいのちです。

そして、ヨハネは26節で言います。

26 私はあなたがたを惑わす者たちについて、以上のことを書いてきました。

あなたがたを惑わす者。つまり、私があなたがたにこれを書いている理由は2つあります。

その1。あの反キリストに先行して、(多くの)反キリストが現れる事で終わりが近づいているのを知る。

その2。あなたがたを騙そうとする人たちは、彼らを騙そうとしていた人たちなので、騙されないでください。正直に言うと、今日のアップデートの準備のために、何度この文章を読み、この文章について考え、この文章について黙想したか分かりません。しかし、26節に入ったとき、私は衝撃を受けました。これが今、まさに起きていることなのです。彼らは、私たちが騙そうとしているのです。神の御言葉に、聖霊の靈感を受けて私たちに警告する使徒ヨハネによるこの言葉があります。なぜなら、神は私たちに真理を知ることが望んでおられるからです。私たちが嘘に騙されないようにするために。騙されているんです。これで、終わりの時であることを知ることができます。今、終わりの時です。

私が言いたいのはこうです。この終わりの時に、反キリストが現れるのになにか近づいているかという点で、私たちは、イエス・キリストがこの終わりの時に来られることを知るので、例を挙げれば、クリスマスのサインがすでに出ていることから、感謝祭が先に来るのを知ります。感謝祭とは、携挙のこと

です。この時期、クリスマスが土曜日だなんて信じられますか？ わお～まもなく 2022 年って知ってました？「それはあなたでしょ。私には 2022 年はまだよ。」と仰る方もおられるでしょう。どうかお付き合いください。来たる反キリストが、その兆候の 1 つであるなら... そうなのですが、とすれば、先ほど読んだように、先にイエス・キリストが私たちのために来て下さると正しく結論づけられます。よろしければ、残りの時間を使って、このことを更に詳しく見ていきたいと思えます。では先に進むため、フェイスブックとユーチューブのライブ配信をここで終了します。まだの方は、JDFarag.org サイトへ直接どうぞ。

一本編一

前置きさせていただきます。かなり強烈に聞こえると思えますが、それが必要なのです。理由があってこのような言い方をします。ここから先は、反論の余地のない証拠です。もう一度言います。反キリストが既に存在している理由の反論の余地のない証拠です。舞台裏とはいえ、既に準備が出来ており、ゆえに私たちは、準備をしなければなりません。携挙が差し迫っています。「牧師さん、あなた毎週そう仰っていますよ。」分かっています。これからも毎週言い続けるつもりです。しかし、ある時言わなくなるでしょう。もう携挙が起こるからです。

反論の余地のない証拠 1 つ目。世界の指導者たちや、言うなれば王たちは、もう既に反キリストに接触しているようです。11 月 28 日のアップデートで紹介したチャールズ皇太子の演説に表れています。

11 月 1 日にグラスゴーで開催された COP26/気候変動サミットでのことで、その文書版から引用します。

「ここで、世界の民間企業の力を強めるために、大規模な軍事的キャンペーンが必要です。”彼”が莫大なお金を自由に使えるように…世界の GDP をはるかに超え、最大の敬意を表して、世界の指導者たちの政府さえも超えるからです。」

言い換えれば、”彼の”が、誰であろうと、”彼”が自由に使える何兆ドルもお金が必要だと言う意味です。”彼が自由に使える” 何がそれ以上に興味深いかというと、彼が続けて言うのが、10 の地域・部門に分割するという発言です。完璧です。彼が、9 や 11 と言わなかったのが大変嬉しいのです。ダニエル書に、10 とあるからです。同じく、ヨハネの黙示録にも書かれている通り、10 の地域・部門/10 の王/10 本の角/10 本の足指。10!!! 私は 10 と言いましたか？ ー(笑)ー

そして聖書預言に、この 10 人の指導者/王は、”彼が自由に使える”よう忠誠を尽くすと記されています。彼らは、”彼が自由に使えるよう”思いのままになります。それが反キリストです。非常に注意しなければなりません。私がメモから離れると未開の地です。聖霊の助けを借りて、精一杯言います。言い方はマズいかもしれませんが、サタンは、これらの人たちに、この知能をダウンロードします。そして、サタン自身が、反キリストに憑依します。ですから、それ全てが起こるのです。彼らはすでに彼と接触しています。彼らはすでに彼と接触しています。彼はすでに場面において、用意周到に準備しています。なぜまだ登場しないのか。私たちがまだ取り去られていないからです。まだ携挙されていないからです。引き止める者が引き止めているからです。しかし、一旦あのラッパが鳴ると、私たちは携挙され、引き止める者が取り去られ、反キリストが登場します。すべての準備が整っています。彼がするのは、スイッチを入れるだけ。この後、それを見ていきます。

2 つ目は、世界経済の支配解体が完了寸前のように見えます。それを実行するために、こういう言葉を使うのをお許しください。反キリストのキャッシュレス経済は、生体認証とワクチン接種の検証に基づいて行われます。意味深なのは分かっています。しかし、このシステムや技術はすでに導入されています。

遵守していれば、UBI で知られるユニバーサル・ベーシック・インカムを得られ、売り買いするためには、社会的信用点数が必要となります。ここからが本題です。この技術は、すでに導入されているだけでなく、オーストリアやドイツをはじめとする国々で、すでに実施されていることが分かります。11月15日、NPR 誌が発表した報道によるとオーストリアとドイツでは、ワクチン未接種者に規制をかけています。この記事から抜粋して引用します。

「新義務化によると、オーストリア政府は、未接種者に、仕事、食事、買い物、緊急時のみ外出を許可する。警察はデジタル・ワクチン証明書の（聞いてください）抜き打ち検査を行っていて、封鎖措置がどれだけ効果的に実施されるかについては懐疑的だ。首都ベルリンでも同様の封鎖措置がとられ、ワクチン完全接種者、またはコロナ回復から間もない人に限り、レストラン、映画館、スポーツ施設への入店が許可されている。」

火曜日、The Times of Israel は、イスラエルの新しいワクチンパスについてのライブ情報を掲載しました。このパスでは、接種者だけがモールへの入場が可能です。抗議や反発もありますが、これは事実上、ワクチン未接種者への行動を制限するものです。まさにここハワイで起こっていることです。月曜日、アルジャジーラ誌は、韓国がコロナ患者を追跡するために顔認証を使用という報道を発表しました。そこから引用します。このシステムには AI/人工知能が使われ、これもまた、人間にダウンロードされている悪魔の知能です。それはサタンから来ています。悪魔的な、悪魔の知能です。

「AI アルゴリズムと顔認識技術で 10,820 台以上の防犯カメラの映像を解析し、感染者の行動、密接に接触した人、マスクを着用していたかどうかを追跡。世界中の政府が、新しい技術と法的権限の拡大に目を向けている。ニューヨークのコロンビア・ロー・スクールが 3 月に発表した報道によると、中国、ロシア、インド、ポーランド、日本、および米国のいくつかの州は、コロナ患者を追跡するための顔認識システムを導入したか、少なくとも実験を行っている。韓国にはすでに、積極的で高技術な接触追跡システムを導入し、（この言葉を聞いてください。引用ですがこの言葉が大嫌いです。）”収穫”（この言葉が大嫌いです）収集している。個人情報を含む、クレジットカード履歴、携帯電話の位置情報、CCTV の映像当個人情報に及ぶ。」彼らはあなたの全てを知っています。

5 月、英国の Metro News は、以下の興味深い記事を掲載しました。「普遍的なベーシックインカムを求める声が当然高まっている。」その内容を引用します。

「コロナ以降、世界的に支持が急増。アメリカでは、ロサンゼルスで試験的に開始、カナダ、韓国、ケニアも同様。ヨーロッパでは、フランス、ドイツ、イタリア、ポーランド、ポルトガル、スペインを対象に昨年世論調査で、3分の2以上の人々がベーシックインカムに賛成と判明。」

は～？ なぜだろう？ あなたが収入を潰しているからです！あなたが彼らの仕事を潰しているからです！あなたが意図的に彼らの生活を破壊したからです！だから、生きるため売り買いするために、あなたのシステムに接続して、このユニバーサル・ベーシック・インカムを受け取らなければならないのです。人が思いついたものではありません。サタンが考え出したもので、神が私たちにこのことを教えて下さいました。しかし、これが終わりの時に起こることであり、実際に起こっているのです。

「牧師さん、あなたが仰っているのは、反キリストの準備が整っていて、携挙がもういつでも起こりうる。みんなが、次の世代の話、今後の 50 年を話しているけど、あなたはそうは言っていませんね。」はい、言っていません。「あなたは、私たちには次の 50 年はないと言っているのですか？」はいそうです。

「あなたは、私たちには次の 30 年はないと言っているのですか？」はいそうです。ただ言っているだけ

ではなく 反論の余地のない証拠があります。説明させてください。反論の余地のない証拠である理由を1つだけお話しします。今、私たちにある技術は、聖書預言に記されている技術です。さらに10年、20年と、技術の進歩のスピードを上げていくと、聖書預言にある技術を超えることになります。それを超えてしまうのです。もう1つの理由は、「鉄は熱いうちに打て」と題した「聖書預言・アップデート」だったと思います。私はこの比喻を使いました。その意味が分かりますよね？ ここにはわずかなチャンスの窓があって、何度、彼らの言葉を聞いたでしょうか。「絶好の危機を無駄にはしまい。」それが(彼らの)物語です。彼らはこの危機によって、自分たちが作り出したものを掴みました。彼らは危機に対する反応を支配してきました。そして今、彼らは(言うのをお許しください)最終的な解決策を提示しようとしているのです。ヘーゲル弁証法の教科書です。命題/問題・反対命題/反応・統合/解決

最終的解決策とは何か？ では、言ってみます。実はこれについて先週考えていました。私たちがワクチンと言っても、緊張感ありません。「あ〜ワクチン？」と。皆さん、これの正体を知っていますか？ 殺人接種です。あなたを殺す注射です。「わお〜牧師さん、、、」事実です。既に人々を殺しています。しかし、この中身については、今まで以上に明らかになってきています。中身、と呼びます。それを人々に注射しているのですよ。私はゾッとする動画を見ました。見ていられませんでした。その場から離れて、ただ祈りました。驚愕しました。もうこれほど、私を驚かせるものはありません。しかしこれは驚愕しました。その成分について。この言葉を使います。その”中身”に。もう時間の問題です。この中身を手に入れて、顕微鏡で見た専門家は、最長約2年で、人を殺すと言っています。では素敵な午後を過ごしてください。メリークリスマス。祈りましょう。でも、それが狙いなんです。これ、強烈過ぎますか？ 会衆から：いいえ。では、さらに強烈になります。ー(笑)ー

写真は、ユーチューブチャンネル「Ruptly」のスクリーンショットで、前腕部に埋め込まれたチップがコロナワクチンの証明書として使用できるのを示しています。スウェーデンのEpicenter社の製品で、この写真では、携帯電話が皮膚の下のマイクロチップをスキャンしている様子です。これは、NFC(Near Field Communication Technology)と呼ばれる技術です。去年、長男がNFCの話をしてくれました。彼はこのように説明してくれました。それ以来、私は眠れません。OK。誰もが携帯を持っていますよね。ここで、このNFCを引き合いに出します。彼らは今、通信技術を持っています。携帯電話の電源を入れると、文字通り何千もの接続が行われます。お店に入ると、近距離無線通信で近くのものと同通信しています。息子が言っていたのですが、家の中にいてもどこにいるか分かるだけでなく、どの部屋にいるかも分かっちゃうんです。トイレに行っても NFC/近距離無線通信に繋がって分かります。そういう技術です。知ってましたか？ ですから、私たちはこの技術を携帯しています。頼みますよ〜。これをポケットや財布に入れている人が皆さんの中でどれくらいいますか？ でしょう？ 手を上げなくて良いですよ。私にも怒らないでくださいね。話しているだけです。この技術をあなたは携帯していて、彼らはあなたの体内に入れたいのです。彼らは、この技術を、あなたが携帯するのではなく、ポケットに入れるのではなく、体内に入れたいのです。それがこれです。なぜ彼らは、あなたの体内に入れたいのか？ そうすれば彼らには、ーこの単語を使いますー あなたのデータを収穫/収集できるからです。彼らは、あなたがどこにいるのか、どの部屋にいるのか、誰と一緒にいるのか、何をしているのか、何を話しているのかを知りたいだけではありません。彼らが知りたいのは、心拍数、酸素濃度など、数え上げればきりがありません。これは、興味深いのですが、「チーフ・ディスラプション・オフィサー」=破壊(混乱)役員責任者 私は老眼鏡をかけて、間違いはないか、強い方のをかけました。破壊と書いてあるのを確認したかっ

たんです。私が言ってるのではありませんよ。破壊（混乱）役員責任者そんなのがあるとは知りませんでした。どうやらありますね。破壊役員責任者が何をするのか知りませんが、彼らが破壊・混乱させる印象を受けます。ー(笑)ー 言っているだけです。しかし、この彼の発言を聞いてください。引用します。

「インプラントは、様々なことに使える非常に汎用性の高い技術です。今は、インプラントにコロナパスポートが常にアクセスできますので、大変便利です。万が一、あなたの携帯電話電池が切れても、いつでもアクセスできます。もちろん現在も、そのように使われています。」あ～だから私の携帯電話はバッテリーがいつも切れてしまうんだ。いいえ、マジですよ。繰り返しますが、長男は、先日、彼に言いました。

「お前から多くのことを学ぶよ。」テクノロジーやサイバーセキュリティに関して、彼から多くのことを教えてもらいました。わざと携帯のバッテリーを消耗させるんだそうです。ですから、私が読んだ”破壊役員責任者”は良い仕事をしていますね。彼らは、混乱させたいのです。あなたのバッテリーを消耗させたいのです飛行機に搭乗する際は、「ああ、ダメだ！切れた。」あ～残念。あなたの後ろの人がこうします。

「あら、ご心配なく。どうぞ。」指輪にキスするのではありません。手をスキャンするのです。私の体内にあるから。ですから、あなたが壊して電池を消耗したこの携帯電話に頼らなくて良いのです。

BiChip という会社があります。調べたい方は、BiChip.com をご覧ください。彼らが、2018年に発表したのは、チップを内蔵した人たちをトランスヒューマンと呼んでいるということで、驚くことではありません。コペンハーゲンを拠点とするこの企業は、先日紹介した「トランスヒューマニズム」と呼ぶ、人間の能力を技術で拡張して向上させる動きの一環として設立されました。BiChip社が押しているチップは、特に、同社開発の BiChipCoin を使った暗号通貨向けに、一種の財布として使用することができます。

OK。破壊・混乱といえば供給連鎖の混乱が、意図的に行われていることをご理解いただきたいと思います。分かりますよね？ 計画は既に実施されていて、この計画は、現在の世界経済を破壊して、デジタル経済を導入することで、暗号通貨に使われているブロックチェーン技術と呼ばれるものを使用します。

ブロックチェーン技術とは何か？ 私が理解し、学んできた中で、最もシンプルな方法で説明すると、検証され、チェーンに追加されたブロックのことです。ブロックの信憑性が確認されると、そのブロックはチェーンに追加されます。これは基本的に 検証技術です。つまり、ブロックチェーン技術は検証だけなので、どんな用途にも使うことができます。ですから このブロックチェーン技術は、このデジタル通貨、つまり暗号通貨、キャッシュレス通貨、デジタル通貨に使えます。この生体認証で、デジタル的な手段を手に入れることができます。ヨハネの黙示録 13 章のしるし/マークです。皆さんが店舗に入ると、皆さんではありませんね。ここにはいない方がいいですから。私たちはここにいませんよ。彼らが店舗に入ると、この認証技術を使って、社会的信用点数に基づき購入することができるようになります。彼らの体中にあるからです。今や、彼らが、物のインターネットと呼んでいたものに接続し、「体のインターネット」と呼んでいます。みんなが接続される場所。近距離無線通信です。彼らは、あなたがどこにいて、

何をしているかを正確に把握します。店舗に行っても、ソーシャルメディアに彼らが好まない何か投稿したら、彼らはデジタルであなたを支配する能力があり、あなたの点数を下げます。その店に行っても何も買えません。社会的信用度点数が低すぎるからです。遵守していないからです。その技術がもうここに

あります。ずっと前から計画されていました。この話は 2 年ほど前からしてきましたね。ここから結論です。この人為的危機は、イエス・キリストを信じる者には携挙で終わり、信じない者には、反キリスト支配下の 7 年間の患難時代で終わります。2020 年 3 月、繰り返しますが、約 2 年前です。私は、ほぼ逐語的にこう言いました。「これが終わり方です。これが終わりです。」これは、私たちにとっては携挙で終

わり、イエス・キリストを知らない人たちにとっては 7 年間の患難時代で終わります。彼らは取り残され、患難時代に入ります。それが終わり方です。言った後のことを覚えています。なんということ！ ユーチューブがまだあのようなことをする前で、すべてがユーザーにありました。その後、チャンネルを、登録者を守るために、すべてを削除しなければなりません。しかしそのコメントと言ったら、「違う！ 2 週間あれば、元に戻る。」—(笑)— 今、いつですか？ ごめんなさい。私の聖なる皮肉をお許してください。

「ねえ、私たちはただ～そうすればそうすれば、元通りになるさ～」本当に？ そう思うのですか？ それを信じますか？ それって、偽りの父からの嘘ですよ。携挙のラッパが鳴るのは、本当に時間の問題です。

まず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、携挙されます。(第一テサロニケ 4:16-17)

引き上げられない人は、私たちが知る通り、世界歴史の最後の 7 年間に入ります。それは言葉にならないほどの恐怖となるでしょう。分かりませんが、もしかしたら考えるのに良い事なのかもしれません。7 年の患難時代に待ちうける恐怖を、私たちは本当に理解しているのでしょうか。黙示録には、その様子が克明に記されています。つまり 壊滅的な、激変的な、人類史上かつてなかった、そして今後二度とないであろう出来事です。大量の人口が殺され地震や小惑星やで何百フィートもの高さの波が襲い、そして、ハワイの島々は、海に滑り込んでいく。ただ消滅していきます。考えられないことが起こるのです。それが起ころうとしています。しかし、私たちではありません。私たちは脱出するからです。彼らが逃れられません。携挙が起きれば、私たちは脱出します。ここで重要なのは、携挙が、7 年の患難時代の始まりなのではありません。7 年の患難時代の始まりは、「ダニエル書 9 章 27 節」に記されている通り、反キリストが 7 年の和平合意を固める時です。

ダニエル 9

27 彼 (反キリスト) は一週の間 (7 年間)、多くの者と堅い契約を結び、...

“堅い契約を結び”は、旧約聖書原語のヘブライ語で興味深い単語で私の母国語アラビア語と同じで、“ヘクビール”です。ヘクビールとは、既にある物を固めてより壮大に、より偉大に、より大きく、より強くするという意味が含まれます。既にテーブル上にある契約をヘクビール/堅くする、固めて、強行し、強化するのです。それが反キリストのする事です。繰り返しますが、もうあらゆるものが設定されています。反キリストは何も設定しません。もう既に設定されていますから。彼が登場すると、全力で実行するだけです。その時点で、7 年のカウントダウンが始まります。ダニエルの第 70 週です。ヤコブの苦難の時です。ヤコブとは誰か？ イスラエルです。イスラエルはまだ、7 年の期間を神に負います。それが第 70 週で、ヤコブの苦難の時です。教会の苦難の時ではありません。一週というのは、7 年間のことで、3.5 年ではありません。7 の期間です。最後の 7 年間です。ダニエルの預言で記されているのは、叫んで唾を飛ばして、ごめんなさい。画面を掃除しないとイケませんね。私のメモが手元画面に出るのですが、唾が飛んでいますから。イエスの御名によって。とにかく、7 年間のど真ん中で、反キリストは、いけにえと捧げものを止めさせます。定められた終わりが彼に注がれるまで、神殿に荒廃をもたらす忌まわしいものを立てます。つまり、イスラエルは、この反キリストが自分たちの救世主だと思っています。彼は、既にテーブル上のこの 7 年間の合意を固め、より壮大にし (ヘクビール) その中に、第三神殿の再建も含むでしょう。そして、中間点の 3.5 年の時点で、自分が神殿に座り、神として礼拝するよう要求

します。今、「第二テサロニケ」でも読んだ通りです。「ダニエル書 9 章 27 節」と一致しています。彼は神の神殿で、神として崇拜されることを要求し、自分が神であると宣言します。その時、イスラエルが気づくのです。「ちょっと待って。これは忌まわしいことだ。」そして、彼らは逃げ出します。それが「マタイの福音書 24 章」です。時間の都合上ここまでにします。私がこのことを言いたかった理由は、イスラエルが今、反キリストを迎える準備ができていることが、反キリストが既にいるのを示す、反論の余地のない証拠だからです。イスラエルの人にこのことを尋ねると、彼らは自分たちの救世主を待っていると言うでしょう。真の救世主を拒んだからです。彼らが自分たちの救世主だと分かるのは、彼らの神殿を再建することを許可する人物なのです。彼らはその人物を、そのように崇拜するでしょう。ですから、言ってみれば、なぜ今待っているのか、ですよね？ 今のイスラエルは、その人物と既に連絡を取っている人がいると思います。地上の支配者や王たちが、既にこの反キリストと接触しているようです。さて、では、私がこれを理解しているかどうか確認します。携挙が起これ、それが患難時代の始まりではありません。患難時代は、ダニエル 9 章 27 節が成就した時、始まります。携挙と、患難時代の始まりの間にギャップはありますか？ 私はそうは思えません。私はそうは思いません。ありえないと思います。私はそれが非常に速く起こると思います。聖書預言には、よく出て来る言葉があります。「突然」という単語です。それが突然起こるような印象を受けます。突然だから突然起こる。因みにそのために、かなりのスピードで動かねばならないのが当然ではないでしょうか。今、お話したようなあらゆることが、他にもたくさんあると言ったらどうでしょう。でも今、皆さんに話したことは、何十年も前から準備されていたことです。世界は何十年も前から、反キリストが現れ、世界の救い主として受け入れられる準備をしていたということです。

1957 年、ポール＝アンリ・スパークという人物、ベルギーの元首相で、現在の欧州連合（EU）を設立した主要な建築家の一人で、こう語りました。引用します。1957 年からの引用です。

「私たちは他の委員会はいらない。既にたくさん存在する。私たちが欲しいのは、すべての人々の忠誠心を持ち、沈みかけている経済の泥沼から私たちを救い出す人物だ。このような人物を送ってくれば、彼が神であれ悪魔であれ、我々は彼を受け入れる。」

こんにち書かれたかのようなですね。こんにち、書かれていると言ってもいいでしょう。こんにち言われているのは、反キリストが出現するとき、世界は、経済的に、政府的に、宗教的に、救い主と受け入れる準備ができています。イスラエルは準備ができています。チャールズ皇太子が準備できています。用意周到に準備できています。だからこそ、私たちは携挙の準備をしなければなりません。それが先に起こるからです。だからこそ、これまでにないほど、イエスを人々に、人々をイエスにできるだけ多くの人を、できるだけ早く、届けなければならないのです。これが「聖書預言・アップデート」を行う理由で、また福音/ゴスペルと「救いの ABC」で、締めくくる理由です。毎週です。毎週続けます。ある週が来ると、しなくなる時が来ますが、それ以外。私たちはここにいないから、しなくなります。

福音とは何でしょうか。使徒パウロが「第一コリント人への手紙 15 章」最初の 4 節で、聖霊によって書いています。福音＝良い知らせとは、イエスが（地上に）来られ、十字架で死なれ、葬られ、3 日目によみがえられたこと。因みに、使徒パウロが最初に書いた手紙は、テサロニケ人に宛てたものです。聖霊に導かれた彼は、福音について、まさに最初にテサロニケ人にこう書いています。イエスが（地上に）来られ、十字架で死なれ、葬られ、3 日目によみがえられ、そして、いつか彼は戻って来られる。まもなく、もうまもなくです。それが良い知らせです。それが良い知らせ、福音です。「救いの ABC」とは何でしょ

うか。子どもにでも分かる、救いの簡単な説明です。

A：自分が神に背いた罪びとであることを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

自分が罪びとだと認めなければ、救世主に興味がわきませんからね。ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由です。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは皆、神の法を破り、罪を犯しているのです。その罰則は？ 死刑宣告です。

ローマ人への手紙 6 章 23 節

「罪の報酬は死です。」

しかし、良い知らせがあります。

「神の賜物（贈り物）は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23a）

それが「A」で、次の「B」が中心です。「ABC」がシンプルでないと言うとすれば、「ABC」よりもシンプルで、ただ「B」だけ、B:Believe/信じる事だけ。「A」が「B」に繋がるのです。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

そして、一旦信じれば、その結果、表現として「C」が生じます。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」（ローマ 10：10）

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節決定打です。

「主の御名を呼び求める者はみな救われる。」（ローマ 10：13）

それほどシンプルなのです。シンプル過ぎますか？ シンプルで嬉しいです。40 年前の 1 月、私にはシンプルでなければなりませんでした。主の御名を呼び、救われてから、一度も振り返りませんでした。あと数分だけお時間をいただけますか？ 今日の「しかし、神は。ストーリー」証です。ウテ・オエヒラーさん、お名前を正しく発音していますように。ドイツからです。

「親愛なる JD 牧師へ、ドイツでは圧力が高まっています。今では、検査しないとバスや電車に乗れないほどです。ワクチンなしでは、お店やクリスマスマーケットに入ることもできません。友人は、メガネが壊れたので必要ですが、お店に入ることもできませんでした。こんな時代が来るとは思いませんでした。

（咳）ごめんなさい。私は病気はありません。喘息持ちなのです。あえて咳をしません。咳をせず、ほぼ上手くいっていたのに。...しかし、神は。福音を伝えるための扉を開かれました。私は宣教師ですが、今は旅に出ることができません。しかし、神は世界を私の目の前におかれました。これまで 74 個のクリスマス小包を、以下出身の私の地域の建設作業員に配ることができました。ポーランド、ブルガリア、マケドニア、韓国、アフガニスタン、ボスニア、スロベニア、そしてトルコです。ハレルヤ！ ポーランドから来た 2 人の男性は、目に涙を浮かべ、イエスに触れられたのです。彼らは 1 週間後、自分の国に福音を持ち帰ります。作業員全員に、JDFarag.org が付いた英語のキーホルダーをプレゼントしました。

どうか、これからも福音を伝え、励まし続けてください。ヨハネの黙示録でイエスが言われたことがとて

も嬉しいです。(3章のフィラデルフィア宛の手紙のことを指しておられます) 私たちには少しばかりの力があって、イエスが扉を開かれるのです。ハレルヤ! 皆さんを愛しています。ウテ・オエヒラー ドイツより」誰が知っていたのでしょうか。神をご存知でした。一拍手喝采

ご起立ください。賛美チームは上がってきてください。皆さんが励まされたのを願います。私は励まされました。誰もが反キリストが誰かを知りたがっていますが、もちろんみんな候補者リストを考えたりしますよね。でしょう? でも結局、それは重要ではありません。彼の正体が明らかになったとき、私たちはここにいないからです。全く、私たちは、反キリストを待っているわけではありません。私たちは、イエス・キリストを待ち望んでいるのです。しかし、反キリストがもう用意されているということは、イエス・キリストが扉口におられるということです。皆さん、準備できておられますように。あなたが主を受け入れる準備ができていないなら、今日、あなたは主と向き合う必要があります。永遠のいのちという人生で最も重要な決断です。切に願います。嘆願です。先延ばしにしないでください。祈りましょう。

天のお父様。感謝します。お～主よ。人間がしていることは、彼らは、邪悪を謀らいます。しかし、神であるあなたは、こんにち、多くの人の救いのために、良い事の計らいになさいます。彼らはこのすべての計画を立てていました。でもその計画前から、あなたは、その計画をご存知で、彼らの計画を私たちに教えてくださいました。今私たちは、計画されていたことが実行され始めているのを目にしています。イエスを知っている者である私たちは、身を起こし、頭を上げます。私たちの贖いが近づいているのを知っているからです。主よ、ありがとうございます。あなたを心から愛しています。イエス様、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7